

平成 26 年度 コミュニティパーク事業対象箇所の審査内容

- 応募状況 応募自治会は、真弓 1 丁目自治会、萩の台住宅地自治会の 2 地区から応募があった。

【真弓 1 丁目自治会】

真弓 1 丁目公園が応募公園

新しい公園のテーマを「多世代の交流・遊び・憩いの場」とし、現在南北に分かれている公園の、北側は遊具・砂場・石のベンチ・藤棚などがあるため、「憩い、くつろぎの場」「子どもが安心して遊べる場」、南側はグラウンド状なので、「躍動、体力作りの場」と位置付け、そのテーマに沿った整備を行いたい等の内容である。

【萩の台住宅地自治会】

萩の台第 2 公園が応募公園

公園内を 4 つに分けるように遊歩道があり、それぞれの場所に以前は遊具があった。しかし、撤去が続き現在は中途半端な状態となっている為、子どもも大人も行ってみよと思わない公園になってしまっている。

そこで、子どもが楽しめる遊具、大人が憩える東屋、サークル活動に使える花壇等の整備に加え、災害時に対応できるカマドベンチを設置したい等の内容である。

- 条件審査 設置されて 10 年以上経過している街区公園及び緑道を対象としている。2 地区ともその条件は達成しているため、当事業の審査対象とする。

※真弓 1 丁目公園：昭和 52 年 2 月 2 日 供用開始

萩の台第 2 公園：昭和 60 年 5 月 1 日 供用開始

- 審査内容 各地区の応募内容等を鑑み、どの趣旨がこの事業にふさわしいかを生駒市緑の市民懇話会において優先する推薦自治会を選定。
生駒市で今年度実施する団体を決定する。

【緑の市民懇話会審査】

[委員意見等]

【真弓1丁目自治会】

- ・真弓1丁目自治会は文章がまとまっており、熱意を感じる。
- ・真弓1丁目公園のポプラについて、倒木の危険性はないか。
⇒2年に1回の剪定時に、チェックしている。
- ・今回の事業で段差のある広場を一体化するような造成工事をする事は可能か。
⇒今の地形を変更するとなると、それだけで事業費を費やしてしまうことになる。段差のあるところにスロープを設けるなど、現在ある法面をどう利用するか等をワークショップで考えていきたい。
- ・真弓1丁目公園は近隣の住民の利用のみかと思う。

【萩の台住宅地自治会】

- ・萩の台住宅地自治会は、高齢化のため公園の維持管理をしていない。
- ・萩の台住宅地自治会では、今まで公園は市が管理するものであり、住民は手出し無用という意識があった。応募されたということは、これからは「できる」と思うようになったということ。このきっかけが大切だと思う。今までやっている自治会は引き続きやっていけると思う。だからこそ今回の事業を機会に新しい取組をしていただきたい。
- ・萩の台第2公園の方が樹木の問題等、早急に解決する必要がある。だからこそ本事業で市と住民と連携して動くのではなく、市が単独でやればいいのかとも思う。
- ・萩の台住宅地自治会は、何かやらなきゃいけないという気持ちを大事にし、バックアップしてあげたいと思う。
- ・萩の台第2公園から延びる緑道の住民の利用はあるのか？
⇒通勤の方が駅までの道として通られている。
- ・萩の台第2公園を整備することで自治会だけでなく、矢田丘陵遊歩道を利用する市民にも恩恵を受けることができる。
- ・萩の台住宅地自治会は今までコミュニティが良いとは言えなかった。昨年、会長が変わってかつての行事が復活するなど自治会の雰囲気も変わった。子ども会や自治会が連携して本事業をするところに大きな意味がある。

【共通】

- ・公園の問題点として、周囲からの見通しの確保と遊具を増やしてほしいというのがあるが、遊具があるのが良いとは一概には言えない。実際遊具を使う年代の子ども

はどれくらいいるのか。

	0～9歳	10代	人数では
萩の台	5%	6.6%	200人ほど
真弓1丁目	10%	7.4%	140人ほど

- ・文面だけでは分かりにくいので、自治会の代表の方の生の声を聴く機会を設けてほしい（プレゼンなど）。また応募の資料など前もって配布してもらい、本懇話会までに情報が欲しい。

⇒今後の課題として改善していく。

- ・今年度の事業ができるのは1箇所のみなのか。2箇所ともすることは無理なのか。どちらかに決めるとなると、落選した方は来年度の事業のシード権を得るなど、今後のケアが必要だと思う。

⇒事業は1箇所のみ。対策については考える。

- ・投票の結果、多数決で萩の台住宅地自治会をこの会としては推す。

【推薦された萩の台住宅地自治会に対する生駒市審査】

①地域連携について

- ・萩の台住宅地自治会では、自治会、老人会、子ども会、公園ボランティアグループ等様々な団体からWSへの参加が見込まれ、地域での高い連携が見込まれるため問題なし。

②公園の課題解決について

- ・萩の台自治会では、公園整備ボランティアグループが発足し、活動をされている中で、公園は市が管理して、住民は手出し無用との認識であったが、そうではなく、地域住民が主体となり維持管理するものだという意識が形成されたとのことで、本事業で公園整備後の維持管理に対する意識は高いと感じられるため問題なし。

③公園の育成について

- ・萩の台住宅地自治会では、既に公園整備ボランティアグループが発足し、グラウンド整備等を実施されており、公園の維持管理という目的のために新たなコミュニティが形成され、継続していく事が可能だと証明されたとのこと。本事業に選定されたとしても、同様に地域のボランティアグループによる維持管理が可能と感じられるため問題なし。

【審査結果】

各応募自治会からの応募内容及び生駒市緑の市民懇話会において参加者から出された意見を参考にし、総合的に判断した結果、平成 26 年度コミュニティパーク事業は、萩の台住宅地自治会の「萩の台第 2 公園」を事業対象公園とする。

選定理由として、これまで萩の台住宅地自治会では公園の管理は市が行うもので、住民は手出し無用との認識だったが、今回の事業の説明を受けてからはボランティアグループによる公園の維持管理を実施する等、公園は地域住民で維持管理していくものという認識に変化したとのことから、本事業に選定されればより一層の地域コミュニティ形成が図られ、積極的な維持管理をして頂けるものと考えられること。また、萩の台第 2 公園は矢田丘陵遊歩道の一部となっており、この公園のリニューアルは地域住民だけでなく、矢田丘陵遊歩道を散策する他の地域の皆さまにとっても望ましいことであり、その事業効果は高いと考えられることが挙げられる。

また、今回の応募に当たって事前に自治会総会での決議を経ている点も、自治会が一丸となったの取り組みであるという意欲の高さが伺われ、既に萩の台第 4 公園でボランティアグループを形成し公園の維持管理に取り組み成功していることも評価が高い。

以上の理由をもって、萩の台住宅地自治会の萩の台第 2 公園を事業対象として選定するが、生駒市緑の市民懇話会及び市の要望として、次の意見を付記する。

：意見：

- ・現在萩の台第 2 公園の維持管理業務は生駒市で行っているが、これを機に自治会で受託すること。
- ・より大勢の住民、特に周辺住民並びに今後この公園を利用する若い世代から積極的に意見を募り、十分に理解を得るようWSを行うこと。
- ・自治会で対応可能な改修については、作業WSを活用して実現を図っていただくこととなるため、積極的に参加すること。